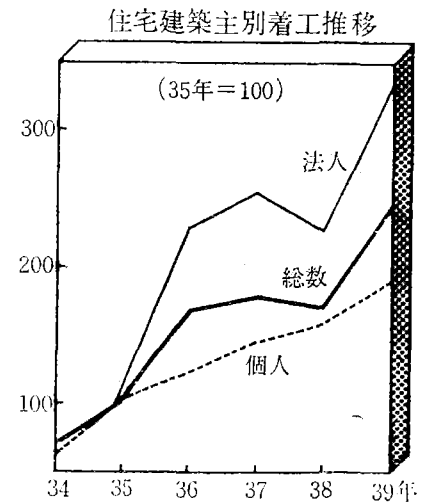


45. 建築物着工状況

39年中における、建築主別の延面積は 349 万 m^2 に達しその55.2%を居住用で占め、鉱工業用20.2%、公務文教用 9.4%の順となっている。

建築主別では、民間法人分 150万 m^2 で43.1%、個人分 138万 m^2 で39.4%を占め、残りが国、県、市町村となっている。

グラフは34年以降の建築主別着工推移をみたもので特に法人建築の伸びが目立っている。



(単位 1 000 m^2)

年	建築主別延面積					
	総数	国	県	市町村	会社その他の団体	個人
昭和30年	553	27	19	77	114	316
31	719	20	29	95	173	403
32	886	12	7	106	323	436
33	807	39	12	119	181	457
34	960	37	15	104	306	497
35 1)	1 427	119	14	110	456	728
36 1)	2 426	311	20	129	1 060	906
37 1)	2 584	133	40	163	1 172	1 076
38 1)	2 415	53	29	120	1 042	1 172
39 1)	3 490	345	91	174	1 504	1 376

年	用途別延面積						
	居住用	農林水産業用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	その他
昭和30年	277	29	42	73	19	113	—
31	407	39	58	86	19	110	0
32	522	39	125	63	31	106	—
33	474	40	76	61	7	146	2
34	571	33	138	80	22	116	—
35	892	40	208	113	33	140	0
36	1 401	60	695	98	29	142	0
37	1 398	59	666	122	113	224	2
38	1 385	15	472	289	58	191	6
39	1 927	42	706	371	93	327	23

建築課調 注) 1) の延面積は床面積の合計である。